

事務事業名		沓番館公衆トイレ維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	商工・企業誘致課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	商工振興係	担当課長名	中里 勇	
	施策	2 まちなかの活性化と公共交通網の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 地域市街地拠点(田沼駅・葛生駅周辺)の活性化の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	10523	一般	7	1	2	沓番館公衆トイレ維持管理事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	14年度～ 年度		根拠法令 条例等	任意的事業・義務的事業		任意的事業		
							実施方法		直営		
							事業分類		施設維持管理事業(市以外が主体)		
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)						
・中心市街地の活性化の拠点施設として設置された葛の里沓番館の公衆トイレ(葛の里沓番館東側)の維持管理を行う事業である。 ・維持管理は、まちづくり葛生㈱に委託して維持管理を行う。 ・トイレ周辺の立木の害虫駆除、剪定なども行う。					・公衆トイレの維持管理をまちづくり葛生㈱に委託した。 ・ポケットパーク南側の生垣の剪定を実施した。(6月)						
活動指標					単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	
トイレ清掃作業のべ日数					日	317	317	318	317	317	
トイレ周辺立木の害虫駆除等回数					回	2	2	1	2	2	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
①来訪者(市民・観光客等)					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
②葛の里沓番館公衆トイレ					来訪者数(沓番館)	人	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
目的											
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
①快適に公衆トイレを利用することができる。					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
②いつでも快適に利用できるように維持管理がなされている。					施設維持管理上の来訪者からの苦情件数	件	0	0	0	0	0
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
賑わいのあるまちなかになっている。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
					イベントの参加人数	人	80,500	86,300	89,100	65,000	68,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	668	693	705	1,261	637	
	事業費計(A)	千円	668	693	705	1,261	637	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需用費	251	需用費	221	需用費	223
			役員費	4	役員費	4	役員費	4
委託料			413	委託料	468	委託料	478	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1		
	のべ業務時間	時間	15	15	15	15		
	人件費計(B)	千円	58	59	58	58		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	726	752	763	1,319	695	

事務事業名	壱番館公衆トイレ維持管理事業	担当部	産業文化部	担当課	商工・企業誘致課	担当係	商工振興係
-------	----------------	-----	-------	-----	----------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧葛生町において、平成14年4月27日に葛の里壱番館の開館に合わせ、中心市街地への来訪者の利便性を図るため、公衆トイレを設置した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	葛生庁舎が平成24年1月に移転したため、葛生地区のまちなか活性化の拠点施設としての葛の里壱番館の重要性は増している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	公衆トイレを維持管理しているまちづくり葛生㈱から、家庭用ごみを公衆トイレに廃棄するケースが増えているという報告があった。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 この事業は、葛の里壱番館に来訪された方が快適に公衆トイレを利用いただくための維持管理事業であるが、葛の里壱番館は中心市街地の活性化の中心拠点のひとつであり、この付帯施設を適正に維持管理することは、中心市街地の活性化に結び付くものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	委ねている	理由・改善案 葛の里壱番館の公衆トイレは市の施設であり、市に管理責任があるが、維持管理については既にまちづくり葛生㈱に委託している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 この事業は、葛の里壱番館に来訪された方が快適に公衆トイレを利用してもらうための維持管理事業であるため、対象・意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 現状のところ、維持管理上の市民からの苦情は出ていないが、家庭ごみを廃棄するケースもあることから、貼紙をして投棄しないよう注意を促している。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 事業費は、トイレトーパーや電球等の消耗品費、光熱水費、保険料、樹木防除業務委託料及びまちづくり葛生㈱への管理委託料である。これまで実績に基づいて事業費の削減に努めてきたため、これ以上の削減余地はない。人件費についても、事務処理上最低の業務所要時間のため、削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 この事業の受益者は、公衆トイレを利用する市民及び来訪者であり、受益者は特定されないため、負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	葛の里壱番館の公衆トイレが存続する限り、この事業を廃止することはできない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		コスト	
		削減 維持 増加	
		向上	
		維持	○ ×
		低下	× ×